

## 別紙

### 令和元年度公益社団法人北本市シルバー人材センター事業計画書

#### I 基本方針

少子高齢化が急速に進展し労働力人口が減少する中で、経済社会の活力を維持していくためには、働く意欲と能力のある高齢者が経済社会の重要な担い手として、また地域社会の支え手として活躍することが必要となっています。

本年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されます。雇用対策法や労働基準法など、労働規制にかかわる一連の法律の改正により、長時間労働の是正や有給休暇取得の義務化等が規定され、労働力不足が一層顕著になり、女性や高齢者の労働への参加はますます重要となっています。

こうした社会構造の変化に対応するため、当センターでは昨年度「中期5カ年計画」の見直しを行い、平成31年度から3年間を計画期間とした「中期計画（改訂版）」を策定しました。当計画ではシルバー人材センターの認知度を高め、『地域に根ざした魅力あるセンターづくり』を基本方針に6つの重点目標を掲げ、最大の課題となっている会員の拡大や会員の希望に応じた就業機会の確保・拡大等に取り組んでいくこととしました。

このため、平成31年度は「地域に根ざした魅力あるセンター」を目指し、中期計画の6つの重点目標に健康増進センターの利用促進を加え、市等関係機関と連携を図りながら事業実施計画に掲げた諸事業を会員及び役職員が一丸となって取り組んでまいります。

#### 《重点目標》

- 1 会員の拡大と資質の向上
- 2 就業機会の拡大
- 3 安全就業の徹底
- 4 地域社会への貢献
- 5 普及啓発活動の強化
- 6 運営基盤の強化
- 7 健康増進センターの利用促進

## II 事業実施計画

### 1 会員の拡大と資質の向上

シルバー事業を円滑かつ安定的に行うためには、就業機会の確保のみならず就業会員の増強が必要です。このため、中期計画に定めた目標達成に向けて会員の確保、拡大を図るとともに、会員の就業力を高める研修等を実施し、資質の向上に努めてまいります。

#### (1) 会員の拡大

- ア 声掛けによる一人1会員の入会促進活動を展開
- イ 出張入会説明会及び女性向け入会説明会の開催
- ウ 会員拡大強化月間(9月)を設定し、積極的な入会促進活動を展開
- エ 女性会員の会(りんどうの会)の活動を通じて入会促進
- オ 市や商工会等関係機関・団体との連携による会員の拡大

#### (2) 会員の資質向上

- ア 会員の就業力を高める講習会等の開催
- イ 国等関係機関・団体主催の技能講習会等の情報提供
- ウ 植木等の技能職の後継者育成
- エ 会員の意識改革と接遇力を高める研修会の開催
- オ 発注者満足度調査と満足度を高める事業の実施
- カ 新会員研修会の開催

### 2 就業機会の拡大

シルバー事業の自立を促進するためには、就業機会の更なる拡大が必要不可欠です。このため、既存発注者の深耕に努めるとともに、地域社会における就業ニーズ等を的確に把握し、民間企業、家庭及び公共機関に対する就業機会の掘り起こしを行うほか、新たな就業分野や独自事業の開拓に取り組みます。

また、会員及び発注者へ「適正就業ガイドライン」を周知し、請負・委任に馴染まない業務については、シルバー派遣事業などへ移行し適正就業の推進に努めてまいります。

#### (1) 就業開拓の推進

- ア 就業開拓員、役職員等により事業所を訪問し、新たな就業を開拓
- イ 公的機関からの受注を拡大するため訪問活動を強化
- ウ 会員にあった仕事を探す就業体験の機会を設定
- エ 新会員の知識や経験、技能を生かせる就業分野の開拓
- オ 独自事業の拡大

カ 新たな指定管理業務の検討

(2) 就業機会の拡大

ア 介護予防・日常生活支援総合事業の就業を拡大

イ 家事援助サービス事業の拡大

ウ シルバー派遣事業の拡大

エ シルバー派遣事業の業務拡大に係る業種及び職種の指定

オ 空き家管理事業の推進

(3) 適正就業の推進

ア 適正就業ガイドラインの遵守

イ ローテーション就業やワークシェアリングの就業を推進

ウ 偽装請負や混在就業がないように就業現場の実地確認を推進

エ 有料職業紹介事業の推進

3 安全就業の徹底

安全・安心なシルバー事業を展開することは、シルバー事業遂行の基幹をなすものであり、「安全は、全てに優先する」を合言葉に事故ゼロを目指して、安全管理委員会による就業先の巡回を重点的に実施します。また、危険予知訓練や安全就業研修等を行い、安全就業の徹底を図るとともに、会員自らが健康の維持・管理に努めるよう、健康診断の受診を周知、徹底してまいります。

(1) 事故防止の徹底

ア 事故情報を共有し、安全就業の周知、徹底

イ 安全管理委員会による安全就業パトロール（現場巡回）の実施

ウ 危険予知訓練の実施

エ 再発防止に向けた安全管理委員会による事故の検証と安全指導

(2) 安全就業講習会等の充実

ア 交通安全講習会（自転車、自動車）の開催

イ 地域班毎に安全就業研修の開催

ウ 職群班毎に安全就業研修の開催

エ 安全・適正就業強化月間における安全意識啓発活動の実施

オ 安全就業を啓発するため安全標語を募集

(3) 健康管理体制の強化

ア 会員の健康診断受診の徹底

イ 会員の健康管理を支援するため「健康体操」の導入を検討

#### 4 地域社会への貢献

シルバー人材センターの目的は、就業以外にも社会奉仕活動等を通じて高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図り、地域社会づくりへ貢献することにあります。地域に根ざし市民から信頼されるセンターとなるため、社会奉仕活動を積極的に推進し、地域社会への貢献に努めてまいります。

- ア 地域コミュニティまつり等へ参加促進
- イ 北本駅西口中央通線歩道のボランティア清掃活動の実施
- ウ 「ぴかぴか北本おまかせプログラム」への参加地域班の拡大
- エ セカンドライフ・アドバイザーを配置し、アクティブシニアの地域参加を支援
- オ 新たな社会貢献活動の検討

#### 5 普及啓発活動の強化

シルバー人材センターの認知度を高め、事業の意義を広く市民や関係機関・団体、企業に知っていただくことは、会員の拡大、就業機会の確保、拡大に繋がるため、様々な機会を通じてPR活動を展開し、普及啓発活動の強化に努めてまいります。

- ア 普及啓発促進月間(10月)を中心に、会員によるPR活動を推進
- イ 就業開拓・会員募集用パンフレット等を作成し、各家庭及び市等関係機関・団体、企業へ配布
- ウ 機関紙「シルバーきたもと」を発行し、会員、関係機関等へ配布
- エ きたもとシルバーまつりの開催
- オ 健康増進センター事業を通じたPR活動の推進
- カ ホームページや市広報等の様々な媒体を活用し、PR活動を推進
- キ 女性会員の会(りんどうの会)によるPR活動の推進
- ク PRグッズの検討

#### 6 運営基盤の強化

シルバー人材センターが発展するためには、中長期的な財政見通しに基づく自立的な運営基盤を強化する必要があります。このため理事会、部会等の活性化を図り、会員自らが事業運営に積極的に参画できる体制を整備し、組織運営の強化に努めてまいります。

また、OA機器等を活用した業務処理の効率化とPDCAサイクルによる定期的な業務の見直しを図り、自主財源の確保に努めるとともに、

職員のスキルアップを図り、事務局機能の強化に努めてまいります。

(1) 組織運営の強化

- ア 役員等の先進地視察研修の実施
- イ 連合等関係機関・団体主催の研修会等へ積極的に参加
- ウ 理事会、部会及び委員会への女性会員の参画率向上
- エ 地域班班長と担当理事との連携協力を図り、地域班活動を強化
- オ 職群班班長と担当理事との連携協力を図り、職群班活動を強化
- カ 女性会員の会（りんどうの会）活動を強化
- キ 理事会、部会、委員会との連携強化
- ク 規約、規程等の適宜見直し

(2) 事務局機能の強化

- ア 請負・委任、派遣事業の就業開拓を推進し、持続可能な財政基盤の確保
- イ 会計事故の未然防止に努め、会計処理体制の強化
- ウ 事務事業の見直し等による経費の節減
- エ 法令等の遵守や個人情報の管理を徹底
- オ 職員の資質の向上を図る研修会等への積極的参加

7 健康増進センターの利用促進

当センターは、平成18年4月1日から健康増進センターの指定管理者となっています。高齢者の長年培ったノウハウや経験等を施設管理に活かし、高齢者等の健康増進や教養の向上を図る各種教室等を開催し、利用者に愛される施設運営に努めてまいります。

(1) 教養講座等の提供

健康体操教室、網戸張替え講習会、包丁研ぎ講習会、囲碁入門教室、折紙教室、茶道教室、障子張替え講習会、カラオケ発表会等を開催

(2) 施設の利用促進

回数券の発行と団体割引の実施、60歳以上65歳未満の利用料金の割引、抹茶サービス、送迎バスの運行等を実施

(3) 健康相談

毎月第3月曜日に保健師による血圧測定、健康相談等を実施

### Ⅲ 事業実施計画表

年 月	事 業	摘 要
平成 31 年 4 月	理事会 会計監査 総務部会、事業部会、広報部会 中期 5 カ年計画企画・検証委員会 指定管理者対策委員会 シルバーまつり実行委員会 入会説明会 新会員研修 PRパンフレットの配布	新会員の承認等 平成 30 年度分会計監査 中期 5 カ年計画平成 30 年度下期評価等 平成 30 年度進捗状況年度評価等 平成 30 年度事業報告及び収支決算 シルバーまつり企画等 第 3 木曜日 平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月までの入会者 各世帯に配布
令和元年 5 月	理事会 シルバーまつり実行委員会 入会説明会 会員向け健康体操	平成 30 年度収支決算報告等 シルバーまつり企画・運営等 第 3 木曜日 とまちゃん体操（5 月 11 日～毎週土曜日）
6 月	定時総会 理事会 事業部会 広報部会 理事・正副地域班長合同会議 入会説明会 技能講習会 技能講習会 会員募集のチラシ回覧 会員向け健康体操	6 月 18 日（火）中丸公民館 新会員の承認等 お客様満足度調査等 シルバーきたもと第 48 号編集等 安全研修・意見交換等 第 3 木曜日 植木剪定技術の向上及び安全就業等 刈払機の安全使用等 区長を通じて全戸へ回覧 とまちゃん体操（毎週土曜日）
7 月	《安全・適正就業強化月間》 理事会 総務部会 広報部会 地域班懇談会 入会説明会 シルバーまつり実行委員会 シルバーきたもと第 48 号発行 会員向け健康体操	新会員の承認等 中期計画に基づく施策の検討等 普及啓発月間における PR 活動の検討 8 地域で開催（安全研修・意見交換等） 第 3 木曜日 まつりの運営及び周知方法等 会員等へ配布 とまちゃん体操（毎週土曜日）

8月	<p>理事会  入会説明会  出張入会説明会  お客様満足度調査  シルバーまつり運営協力者会議  会員向け健康体操</p>	<p>新会員の承認等  第3金曜日  公団・西部地域エリア  8月～10月実施  シルバーまつりの概要、役割分担等  とまちゃん体操（8月24日まで毎週土曜日）</p>
9月	<p>《会員拡大強化月間》  理事会  入会説明会  家事援助講習会  広報部会  交通安全講習会  シルバーまつり</p>	<p>新会員の承認等  第3木曜日  家事支援の技術修得  産業まつりにおけるPR活動等の検討  自動車の安全運転講習  9月16日（月）健康増進センターを会場に開催</p>
10月	<p>《普及啓発促進月間》  理事会  総務部会、事業部会、広報部会  中期5カ年計画企画・検証委員会  指定管理者対策委員会  安全管理委員会  シルバーまつり実行委員会  入会説明会  女性向け入会説明会  交通安全講習会  新会員研修  普及啓発パネル展示  ボランティア清掃活動  会員募集のチラシ回覧</p>	<p>新会員の承認等  中期計画上半期進捗状況評価等  上半期進捗状況評価  上半期の事業報告・予算執行状況等  就業先現場巡回等について  実施結果報告等  第3木曜日  会員の体験談・入会案内  自転車の安全な乗り方  4月～9月までの入会者  文化センターロビーへ展示  北本駅西口中央通線歩道  区長を通じて全戸へPRチラシを回覧</p>
11月	<p>理事会  中間会計監査  事業部会  広報部会  入会説明会  役員等視察研修  産業まつりへ参加  安全管理委員による現場巡回</p>	<p>新会員の承認等  上期会計監査  配分金単価等の検討  シルバーきたもと第49号編集等  第3木曜日  先進地の視察研修（日帰り）  啓発ティッシュ配布、シルバー農園野菜の販売  就業先巡回</p>

12月	理事会 理事及び監事選考委員会 入会説明会 シルバーきたもと第49号発行	新会員の承認等 理事等役員の選出方法等 第3木曜日 会員等へ配布
令和2年 1月	理事会 入会説明会 技能講習会 安全標語の募集	新会員の承認等 第3木曜日 植木剪定技術の向上及び安全就業 会員対象
2月	理事会 総務部会、事業部会、広報部会 理事及び監事選考委員会 指定管理者対策委員会 中期5カ年計画企画・検証委員会 就業促進委員会 入会説明会 女性向け入会説明会 会員状況調査 植木剪定講習	新会員の承認等 新年度事業の検討等 理事等役員候補者の検討 新年度収支補正予算の検討等 新年度事業実施方針の検討 長期就業について検討 第3木曜日 会員の体験談・入会案内 正会員対象 剪定技術の習得
3月	理事会 総務部会 安全管理委員会 入会説明会 接遇研修	新年度事業計画書・収支予算書、新会員の承認等 新年度事業計画書・収支予算書等 安全標語の選考、新年度事業計画等 第3木曜日 コミュニケーション力アップ等
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班長会議</li> <li>・りんどうの会会議及び活動</li> <li>・安全管理委員長等による会員就業先特別巡回</li> <li>・事務局だよりの発行</li> </ul>	

**収 支 予 算 書**  
令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	195,910,000	203,865,000	△7,955,000
受取配分金	173,220,000	181,100,000	△7,880,000
受取材料費等	8,833,000	8,278,000	555,000
受取事務費	13,857,000	14,487,000	△630,000
指定管理事業収益	52,099,000	51,136,000	963,000
施設受託収益	52,099,000	51,136,000	963,000
労働者派遣事業受託収益	700,000	550,000	150,000
労働者派遣事業受託収益	700,000	550,000	150,000
介護予防・日常生活支援総合事業収益	300,000	300,000	0
介護予防・日常生活支援総合事業収益	270,000	270,000	0
介護予防・日常生活支援総合事業利用者負担費収益	30,000	30,000	0
アクティブシニア事業収益	1,030,000	3,000,000	△1,970,000
アクティブシニア事業収益	1,030,000	3,000,000	△1,970,000
職業紹介事業受託収益	5,000	5,000	0
職業紹介事業受託収益	5,000	5,000	0
受取会費	1,554,000	1,564,000	△10,000
正会員受取会費	1,310,000	1,310,000	0
特別会員受取会費	4,000	4,000	0
賛助会員受取会費	240,000	250,000	△10,000
受取補助金等	26,122,000	25,722,000	400,000
受取連合交付金	12,139,000	11,739,000	400,000
受取市補助金	13,983,000	13,983,000	0
受取寄付金	1,000	1,000	0
受取寄付金	1,000	1,000	0
特定資産運用益	3,000	3,000	0
特定資産受取利息	3,000	3,000	0
雑収益	122,000	122,000	0
受取利息	2,000	2,000	0
雑収益	120,000	120,000	0
経常収益計	277,846,000	286,268,000	△8,422,000
(2) 経常費用			
事業費	272,016,434	280,476,020	△8,459,586
支払配分金	173,445,000	181,325,000	△7,880,000
支払材料費等	6,173,000	6,773,000	△600,000
役員報酬	420,000	420,000	0
給料手当	18,414,000	17,112,600	1,301,400
臨時雇賃金	5,780,500	7,282,000	△1,501,500
法定福利費	3,448,000	3,175,000	273,000
退職給付費用	693,000	648,000	45,000
福利厚生費	135,000	180,000	△45,000
旅費交通費	110,000	110,000	0
通信運搬費	1,115,000	1,174,000	△59,000
減価償却費	630,054	601,460	28,594
会議費	35,000	40,000	△5,000
什器備品費	620,000	650,000	△30,000
消耗品費	2,901,000	3,315,000	△414,000
修繕費	1,680,000	1,680,000	0

科目	予算額	前年度予算額	増減
印刷製本費	584,000	632,000	△48,000
光熱水料費	11,572,000	11,472,000	100,000
賃借料	4,157,400	4,113,000	44,400
保険料	2,572,000	1,812,000	760,000
諸謝金	2,641,000	4,134,000	△1,493,000
租税公課	1,115,000	1,115,000	0
負担金	20,820,000	20,324,000	496,000
委託費	12,385,480	11,735,960	649,520
支払手数料	444,000	356,000	88,000
雑費	126,000	296,000	△170,000
管理費	5,829,566	5,791,980	37,586
役員報酬	780,000	780,000	0
給料手当	2,046,000	1,901,400	144,600
臨時雇賃金	296,500	450,000	△153,500
法定福利費	370,000	345,000	25,000
退職給付費用	77,000	72,000	5,000
福利厚生費	5,000	10,000	△5,000
会議費	230,000	230,000	0
旅費交通費	30,000	30,000	0
通信運搬費	20,000	20,000	0
減価償却費	8,946	8,540	406
什器備品費	30,000	30,000	0
消耗品費	30,000	30,000	0
修繕費	30,000	30,000	0
印刷製本費	170,000	170,000	0
光熱水料費	30,000	27,000	3,000
賃借料	316,600	305,000	11,600
保険料	70,000	70,000	0
諸謝金	40,000	40,000	0
租税公課	20,000	20,000	0
支払負担金	380,000	380,000	0
委託費	709,520	775,040	△65,520
支払手数料	80,000	28,000	52,000
雑費	60,000	40,000	20,000
経常費用計	277,846,000	286,268,000	△8,422,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益			
. . . . .			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却(除却)損			
. . . . .			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	36,895,926	37,250,713	△354,787
一般正味財産期末残高	36,895,926	37,250,713	△354,787

科目	予算額	前年度予算額	増減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
. . . . .			
一般正味財産への振替額			
. . . . .			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	36,895,926	37,250,713	△354,787

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込み

(単位:円)

	予算額	前年度予算額	増減
【投資活動収支の部】			
〈投資活動収入〉			
敷金・保証金等戻り収入	0	0	0
預託金戻り収入	0	0	0
特定資産取崩収入	0	0	0
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0
財政運営資金資産取崩収入	0	0	0
シルバー事業積立資産取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
〈投資活動支出〉			
固定資産取得支出	0	0	0
車輛運搬具購入支出	0	0	0
什器備品購入支出	0	0	0
敷金・保証金等支出	0	0	0
預託金支出	0	0	0
特定資産取得支出	0	0	0
減価償却引当資産取得支出	0	0	0
財政運営資金資産取得支出	0	0	0
作業場積立資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
【財務活動収支の部】			
〈財務活動収入〉			
借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
〈財務活動支出〉			
借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0

2. 債務負担額

令和2年度	2,748,948円
令和3年度	1,589,964円
令和4年度	1,076,760円
令和5年度	407,052円

3. 配分金収入の増加に連動する支出（配分金支出、材料費支出）に限り、予算額を超えて執行することができる。

資金調達及び設備投資の見込みについて  
令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

(1) 資金調達の見込みについて

借入の見込み		なし	
事業	借入先	金額	使途

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の見込み		なし	
事業	設備投資の内容	支出又は収入の見込み	資金調達方法又は取得資金の使途

